

□ 要請番号 (JL01824A31)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タイ	G157 日本語教育	20～45 歳のみ	個別	交替 4代目	2年	・2024/3・2025/1・ 2025/2



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ムクダウィッタヤヌクーン中高校

3) 任地 (ムクダハーン県ムクダハーン郡) JICA事務所の所在地 (バンコク都)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で約 4.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1993年に設立された公立の中高一貫校。生徒数約1,000名、教職員数約60名(内、外国籍教師は10名)。日本語教育は2007年から開始。東北部のラオス国境に近い地域の日本語教育センター校(=地域の拠点校)として、ナコーンパンム県、カラシン県、サコーンナコーン県にある中高校を管轄しており、教育省からの日本語センター校特別予算がある。配属先はメコン川沿いに位置するため対岸(ラオス)にある学校との交流の可能性もある。過去に3名の日本語教育隊員が派遣されている。学校のFacebookページは[こちら](#)

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先では、中学1・2年及び高校1～3年までの必須科目として合計週23コマの日本語の授業を実施している。その他、日本語のクラブ活動(週1回)、教育省主催の日本語コンテスト(年3回)、日本語能力試験(以下JLPT)対策、スピーチコンテスト、日本語キャンプ(年1回)などが行われている。生徒の日本語能力はN5が最高レベルであるところ、授業や行事等を工夫し生徒のモチベーションを上げることで、日本語能力の向上につなげたいとのことから本要請に至った。日本語を楽しく学べる授業づくり、文法、発音、会話、作文やJLPT対策など、日本語ネイティブとしてきめ細やかな指導が期待されている。タイ人教師との共働を通し、お互いに学び高め合いながら日本語教育の質の向上を目指す。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

タイ人教師と共に協力し合いながら、次の活動を実施する。

1 チームティーチング等の形態で、日本語の授業を実施する。(1コマ50分、週23コマ程度)

2 授業や日本語クラブ、学校行事などにおいて、日本文化を紹介する。

3 日本語コンテストやJLPT対策において指導・助言を行う。

4 センター校が担当する地域の日本語教育の向上を目的とした活動の企画・実施を支援する。

5 可能であれば、他校の隊員や日本語教育関係者と緩やかに連携し、情報共有等の協力活動を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

日本語教材(『あきこと友だち』※国際交流基金によるタイ人日本語学習者向け教材、『みんなの日本語I』)、プリンター、プロジェクター

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・配属先同僚:
日本語教師1名(男性、経験1年、N3、訪日研修経験なし)
- ・主な活動対象者:
必須科目生徒:合計約80名(中学1・2年生約50名、高校1～3年生約30名)

5) 活動使用言語

タイ語

6) 生活使用言語

タイ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)又はタイ語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(日本語教育に関する資格)

[学歴]：(大卒) 備考：大卒以上の同僚と協働するため

[性別]：(男性) 備考：活動を共にする同僚が男性のため

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：実際に授業を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(12～39℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

同僚日本語教師はタイ語が主であり、活動・生活においてタイ語は必須。2学期制(5月～9月、11月～3月)。タイの住居はキッチンや洗濯機がない住居が一般的。学校のホームページは[こちら](#)